

「マネープラン」

エッセイスト 風間佳

世の中は不景気だというのに、次々と金融商品が発売されている。
金融商品を買うにもお金がかかる。こんな時代に買う人がたくさんいるのだろうか…。
友人に言わせると

「今は、銀行に普通に預けておいてもスズメの涙ほども利息がつかない、ため息も出ない。
だからみんな少しでも良いところに預けようとするのさ」と言う。
そうかあ・・・、でも、そう言われてもやっぱり良く分からない。
私に言わせれば、超がつく低金利時代だと言うのだから、金利の差などわずかで、
金利の差がわずかなら結果もわずか…と覚えてしまう。
それでも資金が何千円もあれば、1%の違いが1年で何十万の違いになるのだろうか、
私が身近に感じる10万単位の資金で、0.1%の金利なら百円単位の問題だ、
月にしたら十円単位の話なら節約した方がよっぽど早い…と覚えてしまう。

そんな私でも簡単に納得できるマネープランの話があった。

「お金を短期・中期・長期に分けて預けると良い」というプランで、
まず、収入の内のいくらかを長い満期のものに預ける。
20年満期や30年満期、または、60才満期や65才満期というもので、
これは老後資金を作るためのもの。
次に、収入の内のいくらかを3～5年の満期のものに預ける。
これは、人生の途中で何か大きな買い物をする時の資金や、
病気をしたりケガをしたりした時の予備資金にもなるもの。
そして残りを、いつでも引き出せる普通預金のようなものに預ける。
これは毎日の生活費に充てるもので、基本的に使い切っても良い資金。
今月節約して少し余ったら、来月は少しぜいたくができる…というもの。

こうしておけば、日々の生活もそこそこ楽しめて、
何か大きなものが欲しくなった時にも少し蓄えがあって、
老後資金もそれなりに準備できる。
金融商品を選ぶ時には、わずかな金利の差を気にするより、
目的にあわせて「期間」で選ぶと良い…というマネープランだ。
簡単明快で私にもできそうな気がした。

E1C-0036-lifeplan